

令和 6 年度

公益社団法人日本技術士会東北本部 応用理学部会

年 次 大 会 資 料

日時：令和 6 年 5 月 24 日（金） 14 時 00 分～14 時 50 分

場所：仙台市戦災復興記念館 4 階研修室

仙台市青葉区大町 2 丁目 12 番 1 号

年 次 大 会 次 第

I. 年次大会議事 14 時～14 時 50 分

(1) 開会宣言

(2) 報告

- ①令和 5 年度活動報告
- ②令和 5 年度会計報告
- ③監査報告
- ④令和 5～6 年度役員人事
- ⑤令和 6 年度活動計画（案）
- ⑥令和 6 年度会計予算（案）
- ⑦その他

(3) 閉会宣言

II. 特別講演 15 時～17 時 CPD 2h

演 題：薪炭林の活用による地産地消の実践、蓄電池材料の開発

講 師：東北大学 学際科学フロンティア研究所 中安祐太 助教
(博士(環境科学))

参加費：無料

III. 意見交換会 17 時 30 分～20 時 00 分

場所：全席個室居酒屋 はれた 仙台一番町

仙台市青葉区一番町 3-11-7 BELLAビル 2 5F (050-5287-7355)

会費： 6,000 円

1. 令和5年度活動報告

①令和5年度応用理学部会年次大会および特別講演

年次大会 参加者：17名

日時：令和5年5月26日(金) 14時～14時50分

会場：仙台市戦災復興記念館 4階研修室

特別講演：15時～17時 参加者18名

講師：守屋資郎氏 (株A.T.S.)

演題：放談 技術士応用理学部門 ～これからも欠かせない存在として～

意見交換会：全席個室居酒屋 はれた 仙台一番町

会費：6,000円

参加者：16名(講師含む)

②令和5年度研修会(防災講演会)

※認定NPO法人 防災・減災サポートセンターとの共催

参加者：技術士会受付24名、一般(NPO)受付12名

講師：斎野裕彦氏(日本災害・防災考古学会副会長、元仙台市埋蔵文化センター)

演題：弥生・平安時代の自然災害と防災・減災

～考古学から見た先人の知恵～

日時：令和5年7月7日(金) 14:30～16:30

会場：仙台メディアテーク スタジオシアター(定員180席)

参加費：CPD対象者のみ2,000円。その他参加者は無料。

意見交換会：仙台メディアテーク 1F クレプスキュール・カフェ仙台

会費：4,000円 参加者：12名(講師含む)

③令和5年度現地見学会 参加者7名

テーマ：ゆざわジオパークの関連施設・現地の見学

日時：令和5年9月29日(金)

場所：秋田県湯沢市(院内石採掘場跡、院内銀山異人館、小安峡大噴湯、皆瀬地熱利用農産加工所、川原毛地獄等)

案内者：伊藤健太郎氏(湯沢市ジオパーク推進協議会)

杓沢均氏(ゆざわジオパークガイド)

参加費：5,000円(異人館入館料、昼食代、交通費等)

演 題：「北海道層雲峡の銀河トンネル関連の話題」
話題提供者：三戸部佑太氏(東北学院大学 工学部 環境建設工学科
准教授)

演 題：「水害を対象とした新たな防災教育ツール開発の試み」
意見交換会：話題提供者 2 名 + 参加者 8 名(会費 5,000 円)

2. 令和5年度会計報告

応用理学部会 令和5年度 会計決算(案)

	決 算	令和5年度予算	対 比
総収入	724,196	843,709	△ 119,513
総支出	552,821	701,000	△ 148,179
繰越金	171,375	142,709	28,666

【収入の部】

科 目	決 算	令和5年度予算	対 比	摘 要	
前年度繰越金	188,709	188,709	0		
本部交付金	100,000	100,000	0		
寄附金	0	0	0		
小 計	288,709	288,709	0		
事業収入	年次大会	132,000	180,000	△ 48,000	講演18、意見交換15、USB06
	見学会	35,000	90,000	△ 55,000	参加費(7名×5,000)
	技術サロン	101,000	120,000	△ 19,000	意見交換会参加費
	研修会	82,000	155,000	△ 73,000	参加19名、意見交換11名
	地震防災WG活動	0	0	0	
雑収入	雑 収 入	18,280	10,000	8,280	会場キャンセル返金
借入金	短 期 借 入 金	67,207	0	67,207	記念誌・サーバー・ドメイン料立替
小 計	435,487	555,000	△ 119,513		
総収入	724,196	843,709	△ 119,513		

【支出の部】

科 目	決 算	令和5年度予算	対 比	摘 要	
事業費	年次大会	109,340	150,000	△ 40,660	案内送付、意見交換会費等
	見学会	37,950	75,000	△ 37,050	ガイド料、保険、交通費等
	技術サロン	98,441	90,000	8,441	会場費、意見交換会等
	研修会	77,130	160,000	△ 82,870	会場費、ポスター、意見交換会等
	地震防災WG活動	0	0	0	
	20周年事業費	87,266	120,000	△ 32,734	記念誌印刷費、郵送費等
小 計	410,127	595,000	△ 184,873		
管理費	会 議 費	5,430	12,000	△ 6,570	2月・4月役員会会場費
	通 信 費	11,334	10,000	1,334	サーバー・ドメイン費、立替金返却
	事 務 雑 費	330	10,000	△ 9,670	書類用ビニルケース
	予 備 費	0	10,000	△ 10,000	
	そ の 他	125,600	64,000	61,600	昨年度立替金、記念誌分返却
小 計	142,694	106,000	36,694		
総支出	552,821	701,000	△ 148,179		

決算、予算対比
 決算-令和5年度予算
 マイナスは△で表示

3. 監査報告

監 査 報 告 書

令和5年度の事業および会計を、帳簿ならびに証拠書類により監査した結果、相違なく、適正に処理されていることを確認しました。

令和6年4月26日

公益社団法人日本技術士会東北本部 応用理学部会

監事 新沼正彦 

4. 令和 5-6 年度 応用理学部会役員名簿

役職	氏名	所属	備考
部会長	尾崎裕司	日本工営(株)	
副部会長	押見和義	(株)復建技術コンサルタント	
副部会長	菊地 真	応用地質(株)	広報(副)兼
代表幹事 ^{※1}	森 信博	土木地質(株)	総務
幹事	伊藤靖雄	大日本ダイヤコンサルタント(株)	広報(主)
幹事	川口通世	(株)川口技術士事務所	福島
幹事	黒墨秀行	(株)総合土木コンサルタンツ	岩手
幹事	今野隆彦	今野技術士事務所	
幹事	桜田裕之	(株)自然科学調査事務所	秋田
監事 ^{※1}	新沼正彦	(株)測地コンサルシステム	幹事兼任(総務)

※1 技術士会東北本部内では幹事表記となる。

5 . 令和 6 年度 活動計画 (案)

① 令和 6 年度 年次大会および特別講演

日 時：令和 6 年 5 月 24 日 (金) 14 時 00 分～17 時 00 分

場 所：仙台市戦災復興記念館 4 階研修室
仙台市青葉区大町 2 丁目 12 番 1 号

○年次大会 14 時～14 時 50 分

○特別講演 15 時～17 時

演 題：薪炭林の活用による地産地消の実践、蓄電池材料の開発等

講 師：東北大学 学際科学フロンティア研究所 中安祐太 助教
(博士(環境科学)) 工学研究科附属超臨界溶媒工学研究センター (兼任)

○意見交換会 会費 6,000 円、全席個室居酒屋 はれた 仙台一番町
仙台市青葉区一番町 3-11-7 BELLAビル 2 5F(050-5287-7355)

② 令和 6 年度研修会

テーマ：植物飼料による水産物の養殖法開発等

日 時：令和 6 年 7 月 12 日(金) 15:00～17:00

場 所：日立システムズホール仙台 2F 研修室 2

講 師：片山亜優氏 (宮城大学 食産業学群 准教授 (博士(農学)))

参加費：CPD 対象者のみ 1,000～2,000 円。その他参加者は無料。

意見交換会：開催予定(会費 5,000 円程度)

③ 令和 6 年度現地見学会

日 時：令和 6 年 9 月

テーマ：植物飼料による水産物の養殖施設の見学

場 所：南三陸町を計画

・日帰り開催。現地集合、現地解散。

案内者：片山亜優氏 (宮城大学 食産業学群 准教授 (博士(農学)))

④ 役員会 (太字は技術サロン開催予定日)

開催予定：4 月 19 日(金)、5 月 24 日(金)、**6 月 14 日(金)**、7 月 12 日
(金)、**8 月 23 日(金)**、**10 月 18 日(金)**、**12 月 6 日(金)**、令和
7 年 2 月 14 日 (金)

⑤地震防災 WG

特定非営利活動法人防災・減災サポートセンターと協力して活動

⑥技術サロン：4回開催予定

第1回 令和6年6月14日(金) 18:00~20:30

会場：日立システムズホール仙台 研修室2

話題提供者：関口絢子氏（株式会社東北開発コンサルタント）

「水力発電所ダム近傍における凝灰岩類の岩盤崩壊」
菊地 真 氏（応用地質株式会社）

「6th World Landslide Forum、Italy」の報告

第2回 令和6年8月23日(金) 18:00~20:30

会場：日立システムズホール仙台 研修室1

話題提供者：大草芳江氏（特定非営利法人 natural science 理事、
（有）FIELD AND NETWORK 取締役、仙台市議会議員）

第3回 令和6年10月18日(金) 18:00~20:30

会場：仙台市戦災復興記念館 第4会議室

話題提供者：布原啓史氏（博士(環境科学)、布原地質調査事務所）

「TL強度から熱源位置をインバージョン解析する方法」
話題提供者もう一名は、現在検討中

第4回 令和6年12月6日(金) 18:00~20:30

会場：日立システムズホール仙台 研修室1

話題提供者：東北学院大学 工学部 環境建設学科 三戸部研究室
学生の卒論研究中間発表会として開催を検討中

⑦認定NPO法人防災・減災サポートセンター 防災講演会の後援・共催行事

1) 2024年度第1回防災講演会（後援：応用理学部会）

期日：2024年7月27日（土）14時~16時（受付13時30分~）

場所：仙台市戦災復興記念館 4階 研修室（定員64名）

仙台市青葉区大町2-12-1

講師：一般社団法人 YOMOYAMA CAMPONY 八巻真由氏（2019年の丸
森町の水災害ボランティア関係者）および認定NPO法人防災・減
災サポートセンターメンバー

内容：テーマ：水災害と地域コミュニティ

~2019年丸森町洪水被害から学ぶ~

第1部 2019年丸森町の災害の概要（10分）

講師：認定NPO法人防災・減災サポートセンター

第2部 災害ボランティアと地域コミュニティ

講師：八巻真由氏（一般社団法人 YOMOYAMA CAMPONY、丸森町）

主催：認定NPO法人防災・減災サポートセンター

後援：公益社団法人日本技術士会東北本部応用理学部会
参加費：1,000円（高校生以下無料）

2) 2024年度第2回防災講演会（共催：応用理学部会）

期日：2024年11月9日（土）または16日（土） 13時～17時

場所：せんだいメディアテーク4階 スタジオシアター（定員180名）
仙台市青葉区春日町2-1

内容：テーマ：能登半島地震から学ぶ

講師：布原啓史氏（布原地質調査事務所、博士（環境科学））、
他1名（未定）

主催：認定NPO法人防災・減災サポートセンター

共催：公益社団法人日本技術士会東北本部応用理学部会

参加費；2,000円

6. 令和6年度 会計予算（案）

応用理学部会 令和6年度 会計予算（案）

	令和6年度予算	令和5年度決算	対比
総収入	771,375	724,196	47,179
総支出	600,000	552,821	47,179
繰越金	171,375	171,375	0

【収入の部】

科目	令和6年度予算	令和5年度決算	対比	摘 要	
前年度繰越金	171,375	188,709	△ 17,334		
本部交付金	100,000	100,000	0		
寄附金	0	0	0		
小計	271,375	288,709	△ 17,334		
事業収入	年次大会	120,000	132,000	△ 12,000	意見交換会
	見学会	90,000	35,000	55,000	15名×6,000
	技術サロン	120,000	101,000	19,000	4回開催、会費2,000円
	研修会	155,000	82,000	73,000	参加35名、意見交換会20名
	地震防災WG活動	0	0	0	
雑収入	雑収入	15,000	18,280	△ 3,280	会場費返金
借入金	短期借入金	0	67,207		
小計	500,000	435,487	64,513		
総収入	771,375	724,196	47,179		

【支出の部】

科目	令和6年度予算	令和5年度決算	対比	摘 要	
事業費	年次大会	160,000	109,340	50,660	意見交換会20名、謝礼
	見学会	95,000	37,950	57,050	昼食、交通費、謝礼
	技術サロン	110,000	98,441	11,559	4回、会場費、会費1000円
	研修会	160,000	77,130	82,870	35名、意見交換会20名、謝礼
	地震防災WG活動	0	0	0	
	20周年事業費	0	87,266	△ 87,266	
	小計	525,000	410,127	114,873	
管理費	会議費	10,000	5,430	4,570	役員会会場費
	通信費	15,000	11,334	3,666	HP管理費、郵送料ほか
	事務雑費	10,000	330	9,670	
	予備費	10,000	0	10,000	
	その他	30,000	125,600	△ 95,600	
小計	75,000	142,694	△ 67,694		
総支出	600,000	552,821	47,179		

対前年決算

令和6年度予算-令和5年度決算

マイナスは△で表示

公益社団法人日本技術士会 東北本部 応用理学部会 規約

平成 15 年 4 月 11 日制定

平成 17 年 6 月 10 日改正

平成 18 年 5 月 12 日改正

平成 20 年 5 月 8 日改正

平成 25 年 5 月 16 日改正

平成 26 年 5 月 9 日改正

第 1 条 名 称

本部会は「公益社団法人 日本技術士会(以下、技術士会)東北本部 応用理学部会」(略称「東北 応用理学部会」と称する。

第 2 条 目 的

本部会は、

- 1) 専門技術の観点から技術士会に協力する。
- 2) 技術士の職業倫理の確立と地位の向上を図る。
- 3) 部会員の技術の向上を図る。
- 4) 部会員相互の親睦を図る。
- 5) 専門技術を通し地域社会へ貢献する。

こと等を目的とする。

第 3 条 部 会 員

部会は、応用理学部門に合格した技術士会会員および準会員をもって構成する。

第 4 条 役 員

本部会は、上記目的を達成するため、次の各号に掲げる役員を置き円滑な部会の運営にあたる。

部会長	1 名
副部会長	2 名
幹事	若干名
監事	1 名

本部会は顧問を置くことができる。顧問は、本部会活動の活発化および円滑な運営を図るため、第 7 条で規定する会議に出席し、意見を述べることができる。

役員任期は 1 期 2 年とし、再任を妨げない。ただし、部会活動活性化のため、部会長は最長 2 期を限度とする。

第 5 条 役員を選任

1. 部会長は、部会年次大会において選任し、本部長に報告する。
2. 幹事は、部会長が部会員の中から委嘱し、年次大会に報告する。
3. 顧問は、役員会が推薦し、年次大会に報告する。

4. 監事は部会長が推薦し、年次大会で承認を得る。

第6条 役員の仕事

1. 部会長は、部会を代表し、全般を総括し、必要に応じて日本技術士会東北本部の役員会で部会に関する意見を述べることができる。
2. 副部会長は、部会長を補佐し部会長に事故があるときは、その仕事を代行する。
3. 幹事は、部会の年次計画案を作成、実行、その他事務事項を担当する（部会員の連絡事項を含む。）
4. 監事は、部会の経理状況及び業務の執行の状況を監査する。更に、役員会に出席して職務に対する意見を述べるができる。

第7条 会議の種類

本部会の会議は、年次大会、役員会とする。

第8条 年次大会

1. 年次大会は定期年次大会及び臨時大会とし部会員をもって構成し、部会長が召集する。
2. 定期年次大会は、原則として本部年次大会前に開催する。
3. 臨時大会は、次の各号に該当する場合に開催する。
 - ①役員会において必要と認めた場合
 - ②部会員の5分の1以上から会議の目的たる事項を示し請求があった場合
 - ③前項の規定により臨時大会を開く請求があったときは、部会長は、速やかに臨時大会を招集しなければならない。
4. 年次大会の議長は部会長が務める。

第9条 年次大会の議事

1. 年次大会においては、この規約に規定するものの他、次の各号に示す事項を報告する。
 - ①前年度活動報告及び決算の承認に関する事項
 - ②年次活動計画及び予算の承認に関する事項
 - ③役員会において年次大会に付議する必要があると認めた事項
2. 年次大会の議事は、出席者の過半数をもって定める。

第10条 規約の変更

本規約の変更は、役員会の3分の2以上の同意を以って発議し、年次大会において出席した部会員の3分の2以上の同意を以って成立する。

第11条 役員会

1. 役員会は構成員の2分の1以上の出席を以って成立し、次の事項を審議する。

2. 役員会の議長は部会長が努める。ただし、都合で部会長の指名により一任された者が会議を推進することができる。
3. 役員会の内容は、その都度議事録を作成する。
4. 役員会に付議する事項は、部会の運営に関することを原則とする。

第12条 部会活動

部会活動は、第2条の目的を達成するため、次の各号に掲げる活動を行う。

1. 本部会並びに他の部会との連携を図り、共通の課題に対する、討議、意見の交換及び行事の共催
2. 国、地方公共団体、民間等の国内の組織団体との技術交流並びに海外の科学技術関係の技術者との交流
3. 科学技術に関する調査並びに文献及び資料の収集
4. 科学技術に関する研修、講演会、見学会等の開催
5. 専門技術により地域に貢献するため地方公共団体等からの相談・依頼があった場合業務を受託し行うことができる。
6. 科学技術に関する情報の交換、新技術の修得及び意見交換等を目的とする行事の開催
7. 部会員相互の親睦を図るための行事の開催
8. 前各号に掲げるものの他、本部会の目的を達成するために必要な活動

第13条 会費等

年会費は当面の間、無料とし、各行事毎に参加費を徴収する。

第14条 事業年度

本部会の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。